

聖書日課とは文字どおり、家庭や教会などで毎日割り当てられた聖書箇所を味わうことにより、キリスト信仰を深めることを意味しますが、写本の世界では特別な意味があります。すなわち、修道院等で定期的に読まれる聖書箇所を抜書きしてまとめたもので、7世紀以降の写本が現存しており、2015年8月現在、2,385件が知られています。その性質上、文書全体を含むものではありませんが、当該部分については本文再構成のための資料として活用できると考えられています。
(参照文献：新約聖書解釈の手引き：日本キリスト教団出版局)